

「学校を核とした県内1000か所ミニ集会」実践例

学校名	野田市立福田第一小学校 野田市三ツ堀1372 電話04-7138-2109
テーマ	「調和のとれた福田っ子（知・徳・体）」を地域で育む
実施形態 実施主体	・福田地区の地域コーディネーター及び、本校PTA役員をはじめ、保護者が主体となり実施
日時 会場	平成30年11月16日（金）13:15～14:35 福田第一小学校 けやきルーム（1F）
日程 流れ・進行	主催者あいさつ 福田第一小学校長 野崎弘之 参加者による自己紹介 テーマについて説明 福田第一小教頭 渡部英治 質疑及び意見交換 進行：川崎コーディネーター ミニ集会の感想 参加者から 講評 川崎コーディネーター
参加者	教職員 3名（校長・教頭・教務主任） 保護者 5名 教育関係者 2名（市教委・県教委） 地域住民 7名（青少年相談員・学校評議員等）計17名
広報	・学校だよりで地域に回覧 ・本校HP
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに沿って、昨年度行った学校アンケートを活用し、その結果をもとに参加者で話し合い、協議を行った。 ・福田の子どもたちの人間力向上を大きな目標として教育活動を行っている。この件についても地域で子供を育てていくという視点で、「知・徳・体」の3つのグループに分かれて話し合った。
保護者や地域の方々の意見 教職員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・福田の自然を生かした農業体験等が豊富で、多くの協力を得ている。 ・調べることはできるが、その事実を見極める力をつけさせたい。図書やNIEの活動を生かしていきたい。 ・外国語やプログラミングなどの新しい学習が増えているが、ボランティアとして、得意なことを子どもたちに指導・支援していく体制作りはどうか。 ・少子化への課題として、小中一貫校にしてはどうか。 ・体験活動などを通して道徳的な実践力を育てていきたい（農業活動、花の栽培など） ・生き物を観察したり育てたりする中で、命の大切さを学び、感謝する気持ちを育てていきたい。 ・地域行事への参加を奨励する。 ・児童が学校で使用している「道徳ノート」を活用し、お家の

	<p>方と情報を共有するとともに「道徳を育む」ことの協働をすすめていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの下校時など、見守りとして地域の協力は必要。防犯パトロールを地区の方でできないか。(子どもへの声かけだけでも十分) ・地域行事などが減り、子どもたちが地域と関わるのが以前より減った。
<p>その他 (テーマの背景、 学校の工夫、 今後の取組等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会、婦人会などからも児童にはたらきかけ、地域行事に参加させる。 ・今ある行事(歩け歩け大会など)等を継続させ、そして積極的に参加し、地域の人とのコミュニケーションを多くとってほしい。

「学校を核とした県内1000か所ミニ集会」実践例

学校名	匝瑳市立八日市場小学校 匝瑳市八日市場イ2311 電話0479-72-1238
テーマ	「読書活動の推進」～本を読もう～
実施形態 実施主体	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会及びミニ集会 ・学校が主体となり実施 ・学校づくり委員会と併せて実施
日時 会場	平成30年10月19日（金） 13:40～15:00 八日市場小学校体育館
日程 流れ・進行	講演会（匝瑳市立図書館司書） 13:40～14:25 （4～6年生・保護者・学校職員・学校づくり委員会委員） ミニ集会 14:25～15:00 （保護者・学校職員・学校づくり委員会委員で意見交換会） 全体進行は副教務主任 意見交換会は教務主任
参加者	教職員 10名（校長、スクールカウンセラー含む） 保護者 18名 学校づくり委員会委員 5名 教育関係者 3名 合計 36名
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者あて文書にて通知 ・学校だよりに掲載
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会「読書活動の推進～本を読もう～」 ・図書館司書による本の紹介、本の読み聞かせ ・読書活動の推進にかかる意見交換
保護者や地域 の方々の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館との連携は非常に効果的。 ・本は子どもの心の成長にとっても重要。 ・図書館のカードを児童全員がもつ取組みによって、本に触れる機会が格段に多くなった。 ・図書館で本を借りられるようになってから、ジャンルの幅が広がり、家でも熱心に読書する姿が見られるようになった。 ・家庭でも本に親しませる取組みが必要。
教職員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・読書への関心が高まってきている。 ・読書に親しむ子とそうでない子の差が激しい。 ・図書館や家庭との連携を深めていきたい。
その他 (テーマの背景、 学校の工夫、 今後の取組等)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価における保護者からの「読書への関心」の項目が低かった。 ・学校周辺に位置する図書館との連携が効果的と判断した。 ・読書活動以外にも図書館を活用していきたい。

「学校を核とした県内1000か所ミニ集会」実践例

学校名	栄町立安食小学校 印旛郡栄町安食305 電話0476-95-0017
テーマ	「携帯・スマホ等利用ガイドライン」について
実施形態 実施主体	・安食小PTAが主催、安食小が共催し、地域・保護者が参加し、グループ別協議を行った。
日時 会場	平成30年10月30日(火) 14:30~15:30 安食小学校 体育館
日程 流れ・進行	開会行事・・・・・・・・ 14:30~14:35 説 明・・・・・・・・ 14:35~14:50 グループ別協議・・・・ 14:50~15:20 グループ意見報告・・ 15:20~15:27 閉会行事・・・・・・・・ 15:27~15:30
参加者	教職員 18名 その他 1名 保護者 5名 地域住民 20名 計 44名
広 報	<ul style="list-style-type: none"> ・地域諸団体に出席を直接依頼 ・学校便りに掲載し、地域にも回覧 ・学校のHPに掲載 ・保護者向け案内
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・栄町小中学校スマホ・携帯利用ガイドラインの説明。 ・スマホ利用のトラブル事例について映像教材を視聴。 ・参加者によるグループ討議。
保護者や地域 の方々の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・本来、携帯・スマホの利用については家庭でしつけるものであるはずだが、それができない家庭が多いのが現状。 ・親がルールを確認しないまま、安易に子供へ機器を買い与えていないか。 ・小学校で、児童の携帯・スマホの所持率、使用状況等の把握は難しいのではないか。家庭が責任を持つべき。 ・ガイドラインは、否定的な言い回しが多いため、児童が理解しやすいような文言への修正が望まれる。 ・ガイドライン策定の趣旨の中に、「いじめ」防止に関する文言も加えるべきではないか。 ・インターネットがそもそも世間にオープンなものであることを、児童・保護者・教員は理解しておくべきである。 ・今回の協議だけでは、多岐に話題が及び方向性を見出すことは難しい。 ・携帯・スマホの使い方を通してモラルを身に付けることが大切。
教職員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・学校でも指導しているが、家庭での指導が第一である。 ・統一ルールを作成したことで、指導がしやすくなった。

**その他
(テーマの背景、
学校の工夫、
今後の取組等)**

・スマホを利用したいじめ等が本校でも発生している。保護者もルール作りの重要性は理解しているが、各家庭の方針に差があり、統一の必要性を感じていた。今回のガイドラインを活用させたい。

「学校を核とした県内1000か所ミニ集会」実践例

学校名	山武市立山武北小学校 山武市沖渡699 電話0475-89-1040
テーマ	「地域の教育力を活かした学校づくり」 ～子どもたちのために家庭がやるべきこと、 学校でできること、地域でできること～
実施形態 実施主体	<ul style="list-style-type: none"> ・山武北小、学区内幼保合同開催 ・授業公開、学校評議員会、音楽鑑賞教室と併せて実施 ・PTAや学校評議員と共同開催により実施
日時 会場	平成30年11月22日（木） 10:15～11:15 山武北小学校 ふれあい広場
日程 流れ・進行	ミニ集会 10:15～11:15 保護者、学校、地域の方で小グループを作り意見交換 進行はPTA役員 授業参観 12:25～13:10 音楽鑑賞教室 13:15～14:45
参加者	教職員 4名（校長、教頭、教務、心の相談員） 保護者 9名（PTA役員含む） 学校評議員 4名 教育関係者 2名（幼稚園園長、保育園園長） 合計 19名
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者あての通知 ・学校だより、学校のHPに掲載
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・山武北小学校の教育について（教頭から） ・PTA活動について（PTA会長から） ・テーマについて3グループに分かれての意見交換 ・全体での協議
保護者や地域 の方々の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域の方の協力が素晴らしい。助けられている。」 ・「地域の力を借りて、子ども達にもっといろいろな体験活動をさせたい。」 ・「子ども達とのかかわり方を親の世代が気を付けたい。（言葉遣い・スマホ等）」
教職員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達のために、家・学校・地域でできることについて、それぞれの立場からご意見をいただき、話し合うことで、これまでの教育活動を振り返り、今後の取組の参考とすることができた。
その他 (テーマの背景、 学校の工夫、 今後の取組等)	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園長、保育園長からは、小学校との連携を密にするためにも、このような取組は継続してほしいとのご意見をいただいた。 ・学校評議員からは、本校の取組について評価をいただくとともに、今後の活動についてご意見をいただくことができた。

「学校を核とした県内1000か所ミニ集会」実践例

学校名	木更津市立岩根小学校 木更津市西岩根8-1 電話0438-41-1303
テーマ	地域と連携した特色ある教育活動
実施形態 実施主体	<ul style="list-style-type: none"> ・授業公開・学校評議員会をあわせて実施 ・本校のボランティア担当が主体となって実施
日時 会場	平成30年9月10日(月) 10:30~12:00 岩根小学校
日程 流れ・進行	講座体験 10:30~12:00 各教室に講師の方を招待して給食 12:10~12:50 意見交流 12:50~13:05
参加者	地域住民 87名 保護者 45名 教職員 27名 学校評議員 6名 その他 4名
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・出席を直接依頼(学校支援ボランティア) ・保護者への通知文 ・地域広報紙に掲載依頼 ・学校だよりを地域に回覧
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々が行っている文化活動に子ども達が触れることを通して、地域との交流を深め、活力ある地域に高める。 ・事前打ち合わせを2回実施、1回目は代表に趣旨説明、2回目は詳細を説明。
保護者や地域の方々の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・次代を担う人材の育成は、学校の大きな使命の一つと考えられます。小学校時代のこのふれあいが、岩根西地区を受け継ぎ、支えていく人材の育成につながることを期待しています。 ・年長者との貴重な関わりをこれからも大切にしてほしい。ぜひ来年度も継続して取り組んでほしい。 ・子どもたちの楽しそうな顔、教えているみなさんの満足そうな顔が素晴らしいイベントの証だと感じました。
教職員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との触れ合いの機会は、意図的に設けていかないと無くなってしまうので、このような集会は貴重である。 ・保護者も巻き込むことで地域力が向上する。
その他 (テーマの背景、 学校の工夫、 今後の取組等)	<ul style="list-style-type: none"> ・参加団体が15を数えているが、今年度で11回目の開催ということで、事前の打ち合わせ、当日の講座と動きはスムーズである。

「学校を核とした県内1000か所ミニ集会」実践例

学校名	君津市立久留里小学校 君津市久留里474 電話0439-27-2361
テーマ	「笑って前向きに」 ～全ての人に秘められた可能性～
実施形態 実施主体	・久留里中学校と合同開催 ・小学校は授業参観、中学校は授業公開と合わせて講演会を実施
日時 会場	平成30年11月15日(木) 13:45～15:30 久留里小学校 体育館
日程 流れ・進行	(小学校) 授業参観(5校時) 12:45～13:30 (中学校) 授業公開(1～4校時) 8:30～12:20 講演会 13:45～15:30(質疑含む) 全体進行は久留里地区青少年健全育成連絡協議会副会長
参加者	教職員 23名(両校の教員) その他(児童生徒76名) 保護者 38名 教育関係者 2名(県教委) 地域住民 10名(健全育成会・学校評議員) 合計149名
広報	・保護者宛て通知 ・学校便りに掲載 ・学校のHPに掲載 ・地域への回覧
内容	講演「夢の実現に向けた、人に秘められた可能性について」 夢を実現させた自らの体験や「常に思考を前向きにすることの大切さ」「誰もが実践できる夢の叶え方などの生き方について、笑いとともに講演が進められた。
保護者や地域の方々の意見	・夢を実現させるため、成功に近づくためには、ポジティブな思考と常に笑うことが大切だと感じた。 ・中学時代の出来事を聞いて、とても勇気があり、積極的な姿勢が夢を叶えるための一歩だと思った。 ・私は前向きな方ではないが、笑顔でわくわくし続ける人生でありたい。 ・子どものこと、将来のこと等考えると沢山不安があるが、いつも前向きに！を心がけたい。
教職員の意見	・成功するためには、他人に危害を加えてはいけない(黄金律)という法則があるということに納得した。 ・子どもたちを飽きさせない話し方がとても参考になった。 ・成功するイメージを持たせられるような教師でいたい。
その他 (テーマの背景、 学校の工夫、	・講演会は毎年実施され、小中学校の保護者だけでなく、広く地域にも参加を呼びかけている。 ・久留里地区青少年健全育成連絡協議会は、子どもたちの心身

今後の取組等)	ともに健やかな育成を目指し、地域・家庭・学校とともに子どもたちの明るい未来を支えていく活動を進めていく予定である。
---------	---